

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218  
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1999年(平成11年)7月25日 No. 1131

## 目次

ロシア新電気通信分野の状況①	坂口 泉 1
統計速報 1999年1～3月のCIS諸国の主要経済指標	13
CIS諸国通貨の最新為替レート	13

## ロシア新電気通信分野の状況①

はじめに ロシアの新電気通信分野も、一般電気通信分野同様、1998年夏の経済危機の影響を強く受け、一時は沈滞ムードに包まれていたが、世界的に新電気通信分野への関心度ならびに期待度が高まる中、復活の兆しをみせてきている。

たとえば、モスクワ市を拠点とする各セルラー電話(携帯電話)会社は、新料金パッケージを提示することにより、加入者数の減少に歯止めをかけることに成功している。また、1999年に入ってから、外資がロシアのインターネットのサーチエンジン(ホームページ情報検索サービス提供)会社やプロバイダーを買収するケースが目立っている。さらに、モスクワやサンクトペテルブルグでは、一部加入者線へ、世界的にみても最先端技術であるADSL(非対称デジタル加入者伝送方式)を導入する計画が具体化しつつある(すでに導入済みという噂もある)。

このような動きを見ると、ロシアの新電気通信分野は、一般電気通信分野に先駆け、復興に向けての助走を開始したように思える。ロシアでは電気通信分野の基盤ともいえる加入者回線網の旧式化・老朽化が著しく、助走の先にあるものを予測することは困難であるが、いずれにせよ、現在のロシアでは数少ない躍動感にあふれる産業分野であるといえる。筆者の技術的な知識の欠如もあり、表面的な動きに限定されるが、本稿では、ダイナミックな動きを見せはじめたロシアの新電気通信分野の状況を、今回と次回の2回に分けてご紹介する。

なお、ロシアの一般電気通信分野の現状については、当会『調査月報』6月号で紹介してあるので、ご関心のある方は、そちらの方もご参照ねがいたい。